



①



②

グリーンドーム前橋や平成大橋に続き、スポーツ施設や荻窪清掃工場が落成。4年に市制施行100周年記念事業を行いました。その後、海外との友好都市提携を進める一方、大胡町・宮城村・粕川村に続き、富士見村とも合併し赤城山山頂から南麓までが前橋市に。また、県内初の中核市移行を果たし、保健所業務などが県から委譲されました。

平成

- ①グリーンドーム前橋のこけら落としとして開催された「世界選手権自転車競技大会」。34か国565人の選手が参加し、トラック競技が行われました。世界一流のスピードに観衆が酔いしれました。
- ②平成大橋は横浜ベイブリッジや瀬戸大橋と同じ斜張橋で、景観にも配慮した美しい橋です。開通式には南町一丁目の山車も繰出し渡り初め。利根川の東西を結ぶ新しい動脈の完成を祝いました。

笑顔あふれるまちにして

両親や祖母が、市内のいろいろな場所へ連れて行ってくれました。中でも、昔から変わらない「るなばあく」には思い出がいっぱい。自分の子どもたちが夢中で遊んでいる姿を見ると、私もこうだったなって、ついほほ笑んじゃいます。

未来の前橋は、もっと子どもたちが安心して暮らせるまちになっているといいですね。この子たちが大人になるころに、懐かしんでもらえるような愛着が湧くまちになっているといいなっています。



北代田町
登坂 結子さん (35)
 積羅ちゃん (3)
 在穂ちゃん (1)

昭和後期

- ①本市の戦後復興状況をご視察される昭和天皇。市内を30分ほど歩かれ、市民とも間近に接してくださいました。工場なども訪れ、行く先々で市民に励ましのお言葉を掛けられたのです。
- ②第38回国民体育大会（あかぎ国体）のメイン会場は前橋市でした。県外から大会に訪れた選手たちのため、市民の自宅を宿泊場所とした「民泊」も。市を挙げて、大会を盛り上げました。



①



②

焦土と化した街から、市民はいち早く復興に立ち上がりました。昭和の市町村大合併を経て、30年代に入ると高度成長を追い風にして市内の企業誘致が進みます。また、市民体育館、新市庁舎、市民文化会館など次々と落成。58年に「あかぎ国体」が開催されます。両毛線高架事業も完成して、北関東の中核都市として発展を続けます。

まちなかで生まれ育った私にとって、幼い頃の思い出は、当時近所にあった魚市場や神社で遊んだこと。通学路には製糸工場が建ち並び、繭のにおいがしたことを今でも覚えています。そこで働く人たちで、まちなかにはぎわっていました。

中央通りにアーケードが設置されたのは高校生の頃。その後、高度成長期とともに発展してきた前橋の歩みは、私の歩みと重なってみえます。これからも暮らしやすいまちであり続けてほしいです。



千代田町二丁目
田中 光一さん (74)

通りのにぎわい懐かしく

23年	21年	19年	17年	16年	15年	14年	13年	10年	9年	6年	5年	4年	3年	2年	平成(1989)	61年	60年	58年	57年	56年	55年	53年	48年	46年	42年	41年	38年	35年	32年	30年	29年	28年	27年	26年	23年	22年	21年
3月 東日本大震災が発生	5月 富士見村と合併開始	4月 本市が県内初となる中核市に移行。市保健所業務開始	12月 前橋プラザ元気21落成	8月 アメリカ・メナーシャ市と友好都市提携	1月 総合福祉会館が開館	12月 大胡町・宮城村・粕川村と合併	4月 本市が特例市となる	3月 北関東自動車道開通	12月 山口県萩市と友好都市提携	4月 市立女子高校を共学とし、校名を市立前橋高校に	4月 前橋文学館が開館	3月 荻窪清掃工場・前橋テルサが完成	4月 平成大橋が完成	4月 大渡温水プール完成	5月 グリーンドーム前橋が完成	10月 両毛線の高架事業完成	10月 関越自動車道が全線開通	9月 六供温水プール完成	9月 10月 あかぎ国体が開催	11月 市民文化会館が落成	6月 市民体育館落成	7月 関越自動車道の前橋・東松山間が開通	4月 中央大橋が開通	1月 六供清掃工場完成	5月 城南村を合併	4月 市立養護学校開校。高崎・前橋バイパス開通	2月 六供町の下水処理場運転開始	4月 城南村の2大字・玉村町の4大字編入	10月 城南村2大字編入	1月 清里村・新高尾村の一部を合併。木瀬村の6大字合併	4月 上川淵・下川淵・芳賀・桂萱・東・元総社・総社の7町村を合併	4月 消防本部・消防署を新設	3月 大正用水完成	4月 桂萱村大字三俣の一部編入	4月 旧制中学校が高等学校で市内の被害甚大	4月 新学制によって国民学校を小学校と改称。新制中学校誕生	3月 天皇陛下が本市の戦後復興状況をご視察